

# 日本認知心理学会第 23 回大会のご案内 (第 1 号通信)

2025 年 5 月 31 日 ~ 6 月 1 日 京都大学

## ご挨拶

皆さま、今年も残りわずかとなり、気忙しい時期になりましたが、いかがお過ごしでしょうか。さて、日本認知心理学会第 23 回大会は京都大学の主催で開催することとなりました。京都大学では、第 7 回大会を開催して以来の 16 年ぶりとなり、日本認知心理学会としては、初の 2 巡目の開催校となります。開催期間は 2025 年 5 月 31 日～6 月 1 日です。例年であれば、まだ梅雨には入らず、また、観光のハイシーズンは外れているので、快適に京都での滞在をお楽しみいただけるものと思います。(なお、昨今のインバウンド需要から、宿の予約などは、できるだけ早めにされることをお勧めします。)

日本認知心理学会も創立から 20 年を超え、学会としての成熟期を迎えています。一方で、認知心理学をめぐる状況は厳しさを増しつつあります。心理学における再現性問題、コロナ禍における実験・研究環境の変化、昨今の円安による海外渡航や国際ジャーナルの購読・投稿費用の高騰の問題、少子化やアカデミアへの希望者の減少による研究者規模の縮小やアカデミックポストの減少など、気持ちが後ろ向きになる話題にはこと欠きません。しかし、せめて学会期間中は、そのような気持ちを忘れて研究を楽しめる時間を提供できればと考えています。

認知心理学会大会は、近年、若い方々の発表が増えてきています。若い方々は、遠慮せず勇気を出して学会に参加していただき、ぜひ学会の楽しさ堪能してください。また、いろんな方々との交流を深めてください。若い時期の学問上の出会いは、皆さんの将来にもきっと貴重なものとなると思います。学会での発表から遠ざかっていた中堅やベテランの会員の皆様も、まずは大会に足を向けていただき、純粹に研究に没頭していた昔の気持ちにしばしタイムスリップを楽しみみるのはいかがでしょうか。よければ、ついでに発表もお考えください。さらには、認知心理学会は、心理学の周辺の研究分野の研究者の方々や、産業、医療福祉、行政などで心理学に関連した研究や開発、実践などをされている方々にも広く門戸を開いています。特に、非アカデミアに所属されている方々には、発表臨時会員の資格で大会発表をしていただけます。ぜひ、積極的にご参加、ご発表ください。きっと有益な情報が得られます。

学会の大会は、立場は違っても学問を愛し、真理の追求を目指すメンバーが世代を超えて一同に会し、闊達な議論や情報交換を行う、年に 1 回の貴重な時間です。第 23 回大会が皆様の研究のさらなる発展のみならず、研究を介したつながりのきっかけになることを念じ、皆様の多くのご参加をこころより、お待ち致しております。

令和 6 年 12 月吉日

日本認知心理学会第 23 回大会準備委員会  
委員長 京都大学 熊田孝恒

## 【1】会期・会場・大会ウェブサイト

1. 会期：2025年5月31日（土）-6月1日（日）
2. 会場：京都大学吉田キャンパス  
〒606-8501 京都府京都市左京区吉田本町
3. 大会ウェブサイト URL：<https://sites.google.com/kyoto-u.ac.jp/cogpsy2025>  
大会の最新情報は、こちらの日本認知心理学会第23回大会ウェブサイトでご確認ください。

## 【2】行事

1. ベーシックフロンティアセミナー（予定）
2. 優秀発表賞受賞者講演会
3. 研究発表（口頭発表・ポスター発表）  
詳細は、【3】「研究発表の要領」をご覧ください。
4. シンポジウム（詳細は決まり次第、大会ウェブサイトにてご案内します）

### ● マテリアマインド：物心共創人類史学の構築に向けた心理学の挑戦

**企画者：**齋木 潤（京都大学）・川畑 秀明（慶應義塾大学）

**登壇予定者：**松本直子（岡山大学）・山本真也（京都大学）・石井敬子（名古屋大学）・川畑秀明（慶應義塾大学）・齋木潤（京都大学）

**概要：**2024年度から学術変革領域研究A「マテリアマインド：物心共創人類史学の構築」が開始された。このプロジェクトは、ヒトによる環境構築と、ヒトの認知・身体・行動の変化との絡み合いについて、文理の枠を超えた超領域的共同研究によってそのメカニズムを明らかにし、人類の来し方行く末を統合的に理解する新モデルの提示を目指している。本プロジェクトにおける超領域的共同研究は人文学に理系の技術や手法を持ち込み「科学化」する月並みなものではなく、理系分野に人文学的概念や論理を持ち込むことで、学知の構造の根本的変革を企図している。心理学はこの試みの中で文理を繋ぐ扇の要として重要な役割を果しうる。本シンポジウムでは、「マテリアマインド」の構想を紹介するとともに、プロジェクトに参画する心理学者（霊長類学、社会心理学、認知神経科学、認知心理学）の話題提供を通じて、物心共創人類史学の中で心理学が果たすべき役割を議論したい。

### ● 認知心理学の概念を問う

**企画者：**齊藤 智（京都大学）・井関 龍太（大正大学）

**登壇予定者：**西山 慧（京都大学）・大平 英樹（名古屋大学）・小塩 真司（早稲田大学）・熊田 孝恒（京都大学）・井関 龍太（大正大学）・齊藤 智（京都大学）

**概要：**心理学の扱う概念は、過去のどこかの時点で誰かが作り出したものか、あるいは、日常言語に存在する素朴概念から派生したものであることが多い。心のあり様は直接的に観察できないため、そうした概念（例えば、記憶、感情、能力など）を用いることで心理学の研究は展開してきた。心理学が生み出した概念はさらに神経科学

やロボテクスなどの分野においても用いられ、周辺領域の進展にも貢献している。一方で、心理学概念の曖昧さや変動性、社会構成性など、その性質や特徴が吟味され議論されることも多くなってきており、概念の危機 (conceptual crisis) が指摘されることもある。本シンポジウムでは、特に認知心理学に関わる概念をターゲットとして、それらの概念の有用性や問題点について複合的な視点から議論する。そのことであらたな研究の方向性が示されることを期待する。

● 『自己』の多面性に対する脳研究からのアプローチ ※神経心理部会共同企画シンポジウム

**企画者:**月浦 崇 (京都大学)

**登壇予定者:**梅田聡 (慶應義塾大学)・北田亮 (神戸大学) ・杉浦元亮 (東北大学) ・月浦崇 (京都大学)

**概要:**我々は、過去から現在まで一貫した「自己」(アイデンティティ)を有しており、周囲の大きな変化によっても「自己」を失うことなく日々の生活を送ることができる。その一方で、就職や結婚などのさまざまなライフステージの変化では、環境に応じて「自己」を変容させることで、新たな環境においても適応的に「自己」を位置づけることができる。本シンポジウムでは、このような適応的な「自己」の基盤となる神経メカニズムについて、身体、記憶、感情、社会的認知の多様な側面の脳研究からのアプローチを紹介することで、適応的な「自己」の多面性の基盤となる脳メカニズムについて議論する。

● 認知心理学は企業活動の役に立つのか? ※一般公開シンポジウム

**企画者:**吉岡 俊彦 (京都大学)・熊田 孝恒 (京都大学)

**登壇予定者:**調整中 (企業を中心に3~4名の登壇者を予定)

**概要:**認知心理学と社会との接点を議論する機会は、過去にも何度かあったが、まだまだ企業における経営の考え方や研究開発の実態を、認知心理学者の大半は知らないと言わざるを得ない。企業では他社との競争などの厳しい条件のもとで各種商品・サービスの提供を行うために経営戦略をたて、研究開発を行っている。業種によっては一次顧客が消費者とは限らないが、最終的に価値を享受するのは人間であり、それゆえに認知心理学の知見は企業活動においても非常に重要だと考えられる。加えて、研究の現場から巣立つ専門的人材が活躍できる可能性にも注目しておくべきである。そこでこのシンポジウムでは個別の研究事例紹介だけではなく、少しマクロな視点からの話題提供を踏まえ、心理学と企業活動との接点への理解を深めていただくことを企画した。具体的には、さまざまな業界を代表する企業で研究開発を企画・統括する立場にある方々にご登壇いただき、事例を交えて、話題提供をしていただく。認知心理学に何が求められるのか、企業が求める認知心理学人材とはどのようなものかなどを考えるヒントとしたい。

5. 総会

大会2日目、6月1日(日)の13時から行います。

会員の皆様におかれましては積極的にご参加くださいますよう、よろしくお願いたします

6. 懇親会については、現在検討中です。

### 【3】研究発表の要領

1. **研究発表の形式:**発表形式は、口頭発表またはポスター発表です。口頭発表は対面とオンライン配信の併用、ポスター発表は対面とデジタルポスター掲示の併用で行います。使用言語は日本語もしくは英語です。
2. **発表の要件:**大会発表論文集（電子版）への論文掲載と、大会当日の研究発表の2条件を満たすことによって、公式発表と認められます。
3. **発表者の資格:**
  - **研究発表者:**発表申込みの時点で学会の会員であり、年会費の滞納がないことが条件です。研究発表者（第一著者）になることができるのは一人につき1件の発表に限られます。発表当日において年会費が未納である場合は、発表取消になりますのでご注意ください。
  - **連名発表者:**非会員でも連名発表者になることができます。
  - **学生発表臨時会員:**本学会は、大学院生以上でなければ会員となることができません。しかし、学部生あるいは2025年3月にご卒業の方は「学会員である指導教員等が連名発表者となる」ことを条件として、発表臨時会員として発表をすることができます。ふるってお申込みください。  
なお、学生臨時発表会員については、以下のように手続きをお願いします。
    - 申込画面で、第一発表者の備考欄に「学生臨時発表会員」と記入
    - 連名発表者に、指導教員などの学会員を含める
  - **社会連携発表臨時会員:**本学会員ではない方が、認知心理学に関連する業務・研究・実践を行っている場合、臨時発表会員になることができます。原則として正会員との連名の発表、もしくは正会員の推薦を必要とします（どうしても推薦を受けることが難しい場合は、大会準備委員会事務局にご連絡ください）。準備委員会による発表論文集原稿の査読を行い、その結果採択となった場合、社会連携臨時発表としてご発表いただけます。
  - 研究発表、シンポジウムで行う発表・報告では、研究内容および発表方法に関して倫理的問題がないことが前提となります。

### 【4】大会参加および発表の申込

参加申込、発表申込は全て大会ウェブサイトで行なってください。

2025年1月中旬頃から申込受付を開始する予定です。

※申込方法の詳細につきましては、大会ウェブサイトでご案内いたします。

1. 参加申込

- 早期参加申込：3月15日まで
- 参加申込：6月1日まで

参加登録と参加費の決済を行なうことで、参加申込完了となります。

当日参加も可能ですが、可能な限り早期参加申込をお願いいたします。早期参加申込をされると割引価格が適用され、かつ特典（京友禅パスケース。参加証入れとしてお使いいただけます）をプレゼントいたします。

## 2. 発表申込

- 第23回大会で発表を希望される方は、大会ウェブサイトに参加申込をお済ませの上、発表申込にお進みください。
- 原則として、発表者となるためには日本認知心理学会の会員であることが必要です（社会連携臨時発表会員ならびに学生臨時発表会員を除く）。入会をご希望の方は、2024年度内に学会ホームページから手続きをしてください。
- 日本認知心理学会ホームページ <http://cogpsy.jp/>
- 発表論文原稿提出：2025年4月15日まで

## 3. 研究発表について

- 発表申込の際に、①「口頭発表かポスター発表か」、②「英語発表をするか否か」のご希望をお知らせください。プログラムの構成上、発表区分の変更をお願いすることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 今大会では口頭発表・ポスター発表を対面で行い、それぞれオンライン配信・デジタルポスター掲示を併用することを想定しております。公式発表として認められるには、対面会場での研究発表が必要です（オンラインのみでの発表はできません）。
- 「社会連携発表」としての登録をする場合には、該当場所にチェックをいれてください。
- 学生臨時発表会員の手続きについては、【3】の3.発表者の資格をご参照ください。
- 英語発表については、大会発表賞（国際委員会賞部門）の受賞対象となります。

## 4. 発表概要（abstract）の提出

- 発表申込と同時に提出していただきます。発表概要は日英どちらかのみでも結構ですが、両方を登録することを推奨いたします。ただし、英語での発表の場合は、必ず英語の abstract を提出してください。

## 5. 大会論文集（電子版）原稿の提出

- 日本語もしくは英語で作成し、PDF と Word ファイルの両方を提出してください。
- 字数・必要事項などの詳細は大会 Web ページからダウンロード可能なテンプレートのファイルをご参照ください。  
※ ご注意：特殊な文字等の場合は、フォントやレイアウトに不具合が生じる可能性がありますので、ご了承ください。ご心配の場合はお問い合わせください。
- 発表者氏名、タイトル、キーワードは日英両方の言語でご提出いただきます。

- 英語でのご発表の場合は、必ず英語版の原稿の提出をお願いします。
- 大会発表論文集は準備が出来次第、大会 Web サイトにて公開します。なお本大会では印刷した論文集は作成いたしません。
- 大会発表論文集は大会後に J-Stage にて公開されます。

#### 6. デジタルポスターの提出について

- ポスター発表される方は、事前にデジタルポスター（会場に掲示するポスターと同一内容の PDF ファイル）のご提出をお願いします。
- 提出方法は後日発表者の方にお知らせいたします。
- 対面会場での掲示は、各自でポスター番号の箇所に責任時間までをお願いいたします。

### 【5】大会参加費等

#### 1. お支払方法

大会参加の受付フォームから参加申込をしていただく際に、クレジットカードにて支払いを行っていただきます。もしクレジットカードでの支払いができない場合には、大会準備事務局までお問い合わせください。

#### 2. 大会参加費

会員種別	早期参加申し込み	通常参加申し込み(A)
会員(一般)	6,000 円	10,000 円
会員(院生)	2,000 円	5,000 円
社会連携発表臨時会員(B)	12,000 円	申込不可(D)
発表臨時会員(C)	2,000 円	申込不可(D)
非会員(一般)	10,000 円	20,000 円
非会員(院生)	5,000 円	10,000 円
非会員(学部生・高校生)	申込不可(E)	0 円(E)

- A. 早期参加申込締切日以降は、通常参加の参加費となります。  
認知心理学会の会員の方は大会当日までに必ず年会費をお納めください。
- B. 非会員による認知心理学に関連する現場・応用・実践研究の発表を、正会員の推薦に基づいて受け付けるものです。
- C. 認知心理学またはその関連分野に関心のある学部生、もしくはこれに準ずる者で、正会員の推薦に基づき本大会で発表する臨時会員を指します。

※連名発表者に、指導教員などの学会員を含める必要があります。

D. 社会連携臨時発表会員および臨時発表会員（学生）の方は、必ず3月15日（土）までに参加費をお支払いください。

E. 当日受付のみ可能です。受付で学生証をご提示ください。

※本大会の参加費は、会員の方は不課税、非会員の方は非課税につきインボイス対象外となります。

## 【6】託児について

本大会では、託児室の設置、もしくは近隣の託児施設の紹介を予定しています。

詳細については、大会ウェブページにてお知らせいたします。

## 【7】お問い合わせ先： お問い合わせはメールにてお願いいたします。

日本認知心理学会第23回大会準備委員会事務局

E-mail : [cogpsy2025@gmail.com](mailto:cogpsy2025@gmail.com)